

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-1-4 治安対策の推進
目的	県民が安全で安心して暮らせる日本一治安の良い地域社会を実現するため、各種犯罪への対策を強化するとともに、県民の自主防犯活動と連携し地域に密着した取組みを推進します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
犯罪率（人口千人当たりの 刑法犯認知件数（暦年））	目標値		4.6	4.3	4.1	3.9	件/千人	目標値								
	取組目標値							取組目標値								
	実績値	4.8	4.4	4.1				実績値								
	達成率	-	104.4	104.7	-			達成率	-	-	-	-	-			%
定性目標	目標値						%	目標値								
	取組目標値							取組目標値								
	実績値							実績値								
	達成率	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	-		%	
定性目標	平成28年度～平成31年度															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	平成29年中の刑法犯認知件数は2,773件（前年比-274件）である。犯罪率4.1は全国7位（良い順）である。															

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>【犯罪の発生状況など】（数値は本年6月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の刑法犯認知件数は1,273件（前年比-90件：-6.6%）で、年間の認知件数がピークであった平成15年以降、6月末の件数としては最少である。 ・個別的には、侵入窃盗が63件（前年比-47件：-42.7%）と減少したが、自転車などの乗り物盗が212件（前年比+19件：+9.8%）、特殊詐欺が23件（前年比+3件：+15.0%）と増加している。また、特殊詐欺の被害者のうち高齢者及び若者の占める割合が7割を占めているほか、自転車盗、自動車盗、車上ねらいなどの被害時において無施錠であった割合（無施錠率）が全国ワースト上位という問題点を抱えている。 <p>【犯罪の起きにくい社会づくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボランティア（平成29年中：334団体 20,196人）、青色防犯パトロール隊（本年6月末：159団体 3,473人）と連携するとともに、街頭防犯カメラの設置促進（本年6月末：警察管理の45台を含め776台設置）、特殊詐欺被害防止に向けた高齢者に対する直接的な注意喚起や金融機関窓口での声掛けによる水際対策（本年6月末：水際阻止22件）などに取り組んでいる。
---	---

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる（見直す点がある） C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本年6月末現在の刑法犯認知件数は、前年比90件減少しているが、高齢者に加え若者が対象となる特殊詐欺が依然として発生しており、自転車盗等の被害時における無施錠であった割合が全国ワースト上位であるなど、引き続き、治安対策の推進が必要である。 ・県民が安全で安心して暮らせる日本一治安の良い地域社会の実現に向けて、犯罪率等は概ね目標に沿って減少している。

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺の被害者のうち高齢者の占める割合が半数を占め、依然として高齢者の資産が狙われていること、電子マネーカード、コンビニエンスストアのマルチメディア端末を悪用した架空請求詐欺が増加傾向にあること、無施錠率が依然として高いことなどから、更なる犯罪の未然防止に向けた取組みを推進していく必要がある。また、県民に強い不安感を抱かせる凶悪犯罪に対しては、引き続き早期検挙に努めていく必要がある。 ・県民の安全・安心を確保するため、防犯ボランティアによるパトロール活動、鍵かけ運動の推進、自治体・地域コミュニティによる街頭防犯カメラの設置促進をはじめとする、犯罪の起きにくい社会づくりに向けた取組みを推進していく必要がある。また、他県において下校中の子供が被害者となる凶悪犯罪が発生していること、防犯ボランティアの高齢化や共働き家庭の増加による見守りの空白地帯が生じていることなどから、通学路等における子供の安全を確保するため、「登下校防犯プラン」による対策を推進していく必要がある。 ・若い世代の防犯ボランティア活動への関心が低く、防犯ボランティアの世代交代が進んでいないことから、若年層の防犯ボランティア活動への参加促進や事業者などによる自主防犯活動の活性化を図る必要がある。 ・サイバー犯罪・サイバー攻撃や組織犯罪などの新たな治安上の課題に対する対処能力の向上を図る必要がある。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年8月、「世界一安全な日本」創造戦略（平成25年12月閣議決定）を受けて、本県における新たな治安対策の指針として「犯罪に強い社会の実現のための島根行動計画」を策定しており、この行動計画の着実な推進を通じて更なる治安の向上を目指す。 ・当該行動計画では、少子高齢化の進展・地域との関わり希薄化等の社会構造の変化を踏まえ、行政機関のみならず地域全体が連携しながら、子供・女性・高齢者をはじめとする県民の安全を守るための各種対策や再犯防止対策の強化等に取り組むとともに、サイバー犯罪・サイバー攻撃、組織犯罪等の新たな脅威に対する対処能力の強化等を図ることとしている。 ・計画体系は、7つの視点の下に、35施策・160事業で構成する中、具体的には、以下の①から⑥までの各視点に基づく施策を展開するとともに、これを効果的に推進する上で必要となる、⑦の視点に基づき、人員・施設の充実、科学技術の活用等の多角的観点から基盤の強化に取り組む。 <ol style="list-style-type: none"> ①活力ある社会を支える安全・安心の確保 ②犯罪者を生まない社会の構築及び再犯防止対策の推進 ③安心して外国人と共生できる社会の実現に向けた不法滞在者対策 ④社会を脅かす組織犯罪への対処 ⑤安全なサイバー空間の構築 ⑥原子力発電所等重要施設に対するテロ対策・カウンターインテリジェンスの強化 ⑦犯罪に強い社会の実現に向けた基盤の強化
---------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称		施策Ⅱ-1-4 治安対策の推進			
(単位:千円)					
	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進	県民の防犯意識を高め、防犯に留意したまちづくりを推進することにより、誰もが安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指す。	1,866	2,364	環境生活部 環境生活総務課
2	治安基盤強化事業	警察の組織の人的、物的及び制度的基盤を整備し、精強な第一線警察を構築することにより、県民の安全で安心な生活を確保する。	338,069	481,199	警察本部
3	犯罪の起きにくい地域社会づくり推進事業	県民に対し、自主防犯活動に資する安全安心情報の提供や防犯活動に対する必要な支援を行うことにより、犯罪に遭わないための防犯意識の向上を図るとともに、県民の身近な場所で発生する犯罪を抑止し、犯罪被害に対する不安感を解消する。	37,068	37,350	警察本部
4	街頭活動強化事業	交番の地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化し、住民の安心感と体感治安の向上を図る。	70,703	73,836	警察本部
5	サイバー対策事業	安全に安心してインターネットを利用できるようにする。	14,072	16,235	警察本部
6	凶悪犯罪等対象事業	県民の体感治安に直接影響を及ぼす凶悪犯罪を検挙することにより、県民の生命・身体・財産を守る。	58,482	58,503	警察本部
7	暴力団対策事業	暴力団犯罪から守る。	5,614	7,030	警察本部
8	犯罪被害者支援事業	犯罪被害者等の被害を早期に回復させるとともに、再び平穏な生活を営むことができるよう支援を講ずる。	4,354	5,509	警察本部
9	警察相談事業	警察に寄せられる相談内容に応じ、的確な指導助言を行うとともに、違法行為者に対して警告・検挙等の措置を講じ、犯罪等による被害を未然に防止し、県民の不安を解消する。	19,003	21,397	警察本部
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					